

R3年度放課後等デイサービスまかまか自己評価(公表)

公開日：令和4年 2月 14日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	80%	20%		規定に合わせて設置している。
	②	職員の配置数は適切であるか	80%	20%		基本人員を満たすよう配置している他、必要な支援ができるよう加配の配置もしている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	60%	20%	20%	完全なバリアフリーではない。必要な箇所は今後も整備していく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	40%	60%		特に外の環境づくりで低学年でも安全に遊べるように整備していきたい。
業務 改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	20%	40%	20%	新しい職員の意見もしっかりと吸い上げながら進めていきたい。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	40%	40%		何一回実施。
	⑦	事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、その結果による支援の質の評価及び改善内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	40%	20%		ホームページに掲載している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		60%	20%	第三者機関に依頼しての評価は行っていないが、外部評価を得られる機会があれば積極的に受けるようにしている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	80%	20%		行っている。来年度は職員の意見を取り入れながら年間計画で進めていきたい。
適切 な 支 援 の 提 供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	60%	20%		行っている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	60%	20%		行っている。
	⑫	支援計画には、ガイドラインの提供すべき支援の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で支援内容から子どもの支援に必要な支援が選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%			行っている。
	⑬	各支援計画に沿った支援が行われているか	80%	20%		行っているが、計画内容を職員全体で把握して支援していけるようにしていきたい。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			担当職員を中心に意見を出し合いながら行っている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	40%	40%		見通しがつく活動の中で新しいことにもチャレンジできるように工夫していきたい。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成しているか	60%	20%		平日は個別支援が多くなるが、長期休暇など集団活動も組み込みながら支援していく。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			当日確認してから支援している。	

R3年度放課後等デイサービスまかまか自己評価(公表)

	⑱	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	60%	20%	20%	就業終了時間が異なる為、支援開始前のミーティングで前日の様子の報告などもしっかりと行う。
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	80%		20%	記録は毎回行っている。情報共有をしっかりと行い、支援の改善につなげたい。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、各支援計画の見直しの必要性を判断しているか	60%	20%		担当者との会議で状況を確認し行っている。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80%			必要時、出来る限り参加している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	40%	20%	20%	必要時に行っている。
	㉓	学校等との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	80%			お迎え時を中心にこまめに情報交換するように心がけている。
	㉔	医療的ケアが必要な子どもを支援している場合は、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等との連携、及び子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	40%	20%	20%	現在は医療的ケアが必要な児童はいないが、必要時には行う。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、小学校や特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	60%	20%		必要時、相談員の協力を得て行う。
	㉖	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	40%	40%		現在はその状況はないが、必要時には相談員の協力を得て行いたい。
	㉗	他の児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	40%	20%	20%	研修の機会があれば参加しているので、今後も積極的に参加していきたい。
	㉘	保育所・認定こども園や放課後児童クラブ等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		60%	20%	日々の活動の中ではなかなか難しい状況である。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		40%	40%	必要時には参加していきたい。
	㉚	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	80%	20%		当日必要な連絡は連絡帳の他、電話やメールを活用し伝達できるようにしている。
	㉛	保護者の対応力の改善を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	20%	40%	20%	今後オンライン研修などの活用など検討していきたい。
保護者への説明責任等	㉜	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	60%	20%		契約時に行っている。
	㉝	ガイドラインの「提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された各支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか	60%	20%		契約時に行っている。
	㉞	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	60%	20%		定期の面談の他、必要時に行っている。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		60%	20%	現在は開催が難しい。状況を見て開催できるように努力していきたい。
	㊱	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	60%	20%		窓口を設置しているが、管理者を中心に対応している。

R3年度放課後等デイサービスまかまか自己評価(公表)

③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	40%	20%	20%	不定期発行になっているため、定期発行できるように努力していきたい。
----	--	-----	-----	-----	-----------------------------------

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	③8 個人情報に十分注意しているか	100%			
	③9 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	80%	20%		
	④0 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか	20%	40%	20%	開催するのが難しい状況である。
非常時等の対応	④1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	60%	20%		契約時に周知するほか、職員に向けても定期的に周知していきたい。
	④2 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	80%		20%	年二回実施している。内容を工夫し、継続して行っていく。
	④3 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状態を確認しているか	80%	20%		緊急時の対応を保護者と確認している。
	④4 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	40%	40%		アレルギーの有無などは契約時に行っている。
	④5 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	60%		40%	細かいことでも全体で把握できるように日々のミーティングで共有していきたい。
	④6 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	80%			年一回以上研修の機会を持ち、全員で対応できるようにしていきたい。
	④7 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか	40%	40%		来年度に向けしっかりとおこないたい。

【放課後等デイサービスについての課題と今後の目標】

自己評価については全員に行ったほか、保護者からの支援評価結果をもとに現在の課題と今後の目標について全職員で話し合いを行いました。内容については以下の通りです。

◎環境・体制整備について

- ・職員の配置などについては会報などを活用して知っていただく機会を作りたい。
- ・活動場所としては、おおむね整備はされているものの改善したい箇所はある。安心して活動できるように必要個所の整備を続けていきたい。

◎適切な支援の提供について

- ・支援や計画の内容については、面談の際など丁寧にお伝えできるよう努力を続けたい。
- ・障害のない児童との交流についてはなかなか難しいが、公共の施設を利用した際などにうまく交流出来るように支援したい。
- ・職員全体で支援の質を向上できるよう努力していきたい。

◎保護者への説明等

- ・新しい職員に対しての説明が不足していた。
- ・父母の会等の開催については難しい状況が続いている。状況を見ながらどのようにできるか検討したい。
- ・情報の発信としては、ブログの活用も視野に入れ、児童の活動予定やその様子を気軽に見ていただけるように工夫していきたい。

◎非常時の対応について

- ・保護者への発信が十分にできていないと感じた。今後、どのような活動を行っているか、発信の仕方を工夫したい。